

November , 2021

新型コロナウイルス感染症対策 マニュアル

第 60 回日本網膜硝子体学会総会
展示会開催への留意点



一般社団法人 日本眼科医療機器協会

新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

第 60 回日本網膜硝子体学会総会 展示会開催への留意点

出展企業でご対応頂きたい事項

【事前】

★学会参加者（ブース説明員、学会登録者）の入場可能な条件として下記①または②の要件の遵守をお願いいたします

①新型コロナワクチン 2 回接種済みの方。

②来場される日から遡り 72 時間以内の PCR 検査又は抗原検査で陰性が確認された方。搬入日も含みます。

例：12 月 2 日の搬入に参加される場合：11 月 29 日～12 月 1 日

12 月 3 日参加の場合：11 月 30 日～12 月 2 日の間に検査を実施して頂き、陰性の方でお願いします。

（複数日来場される場合は最初に来場される日程の事前 72 時間以内に行った検査で結構です）

尚、協会へ陰性証明書の提出は不要です。

※抗原簡易キットを購入の場合は、薬機法承認を得ている医療用抗原検査キットをご使用ください。

研究用のキットは不可。 <https://www.mhlw.go.jp/content/000836277.pdf> を参照ください。

★各社展示責任者が学会参加者（ブース説明員、学会登録者）の健康状態を確認・把握

* 学会終了 2 週間後まで各社の展示担当者の方は陰性が証明できる（抗原検査は結果の写真で結構です）ものを必ず保管してください。もし、学会期間中に陽性者が発生した場合は学会から提出を要求される場合がございます。

①過去 14 日以内の行動について

- ・新型コロナウイルス感染者と接触したことがある
- ・自分あるいは家族に咳や発熱、倦怠感、他の呼吸器症状がある
- ・海外に渡航した若しくは海外からの来訪者と濃厚接触をした 等

②搬入日に入館する全ての小間施工会社、搬入業者、出展者等参加者はホール B5 で全員検温を受けてください。37.4 度以下の場合には検温モニターから検温済みシールがプリントされます。

誰が見てもわかる位置に検温済みシールを貼付して作業を行ってください。

37.5 度以上の方は入場できません。展示責任者に連絡して感染対策の対応をお願いします。

③小間施工会社、搬入業者の健康状態の事前確認及び参加者名簿を作成し、学会終了 2 週間後まで保管してください。学会の要請があった場合は名簿を提出して頂くケースもございます。

④「COCOA」のアプリをインストールして登録、「東京版新型コロナ見守りサービス」のご利用をお願い致します。

【会期中】

①マスクの着用（サージカルマスク*若しくは N95 の性能と同等マスクの着用）又はフェイスシールド等の着用をお願いいたします。[*2 層、3 層の不織布マスク]

②こまめに手指のアルコール消毒を行ってください。

③ B 棟の 1 F エレベータ、エスカレータは新型コロナウイルス感染防止の一環として使用できません。参加者全員 G 棟又はホール C からホール B5 に移動してください。お手数をお掛けしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。B5(1)(2)及び B5 ホワイエの小間での業務前に全員検温を受けてください。検温機設置場所は G 棟、ホール C からの入口付近となります。37.4 度以下の場合には検温モニターから検温済みシールがプリントされます。

新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

第 60 回日本網膜硝子体学会総会 展示会開催への留意点

誰が見てもわかる位置に検温済みシールを貼付して業務を行ってください。

検温済みシールが確認できない場合お声掛けさせて頂く場合がございます。37.5 度以上の方は検温シールがプリントされませんので学会には参加できません。

- ④ 展示会受付に参加者全員「健康状態申告書」参加日毎に提出してください。(第 75 回臨眼で持参忘れの方が非常に多くいらっしゃいました。展示責任者は社内の学会参加者に健康状態申告書を持参するようにご指示を頂けます様、お願いいたします。)
- ⑤ ブース内での商談場所には感染防止対策として飛沫防止パーテーション等の対策をしてください。商談時の飲料等のサービスは禁止とさせていただきます。
- ⑥ 展示機器消毒の徹底 (場合によっては手袋を使用してください)
- ⑦ 販促資材 (パンフレット、文献等) の手渡しはやめてください。参加者が自由に持ち帰ることが出来るようにしてください。サンプル、ギミックの配布は禁止とします。
- ⑧ 出展者同士の通路での不必要な会話、来場者への大声での呼びかけや強引な誘導はしないでください。
- ⑨ 体調不良者が発生した場合、展示責任者は該当者を速やかに隔離(B602)、医療機関、保健所へ連絡し指示を受ける。その後、展示事務局 (展示受付) に速やかに詳細の報告をしてください。展示事務局より学会長、学会運営事務局に報告いたします。
- ⑩ マスクを外して飲食をされる際は、黙食に御協力をお願いいたします。
- ⑪ 展示会時間終了後、大人数での会食を避けて、感染リスクを低減するような対策を取ってください。
- ⑫ 学会終了後 2 週間以内にコロナ陽性者が確認された場合、協会に電話かメールで連絡をしてください。学会長、運営事務局、東京国際フォーラムに速やかに報告いたします。
- ⑬ マスク等、衛生品の館内での廃棄は禁止です。(各社で責任をもって廃棄してください)
* ブースに来訪された医療関係者等、可能な限り日時、氏名、施設名等を記録すること推奨します。

協会が対応する事項

- ① 搬入日にホール B5(1)(2)及び ホール B5 ホワイエに来場する全ての小間施工会社、搬入業者、出展者をホール B5 にて検温を実施します。37.4 度以下の方は検温モニターから検温済みシールがプリントされます。誰が見てもわかる位置に検温済みシールを貼付して作業を行ってください。37.5 度以上の方はシールがプリントされない為、入場できません。その場合、展示責任者はすぐに該当者に対して帰宅又は受診する等ご対応をお願いいたします。
- ② 小間数に応じて入場証を発行いたします。(新型コロナウイルス感染対策の為、入場者数が制限されます)
1~2 小間:4 枚、3~4 小間:5 枚、8 小間:8 枚、16~20 小間:16 枚
* 学会登録をされていても自社ブースでの製品説明をすることはできません。
* 出展しない正会員、賛助会員、非会員 4 枚までとなります。
- ③ 学会会期中の展示会場受付に「健康状態申告書 *」を参加日毎に提出して頂きます。
「COCOA」のアプリをインストールして登録、「東京版新型コロナ見守りサービス」のご利用をお願い致します。
* 過去 2 週間以内に感染、及び拡大している国、地域への訪問履歴がある、37.5℃以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、頭痛、間接・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、等 体調不良、嗅覚異常や味覚異常がある方 —— 入場を禁止させて頂きます。

新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

第 60 回日本網膜硝子体学会総会 展示会開催への留意点

④展示会開催期間中は G 棟、ホール C からの入口付近で全員、検温を受けてください。検温モニターから検温済みシールがプリントされます。誰が見てもわかる位置に検温済みシールを貼付して業務を行ってください。

37.4 度以下で、上記③の症状の無い方がホール B5(1)(2)及びホール B5 ホワイエで業務が可能。

⑤マスク着用要請、手指消毒の呼びかけ、場合によっては手袋併用の推奨。

⑥展示会場内換気、空間除菌器、Co2 濃度計、入退場口に消毒液を設置

⑦展示受付、リフレッシュコーナー、おもてなしコーナー等に飛沫防止パーテーション設置

⑧出展社控室 B 棟 6F の B612 のテーブル及び椅子などの定期的な消毒、飛沫防止パーテーションを設置。

⑨体調不良者発生に対する対応

・新型コロナによる体調不良者を隔離するための場所は B 棟 6F の B602 です。（但し、医師、看護師は不在）

⑩体調不良者の移動手段（コロナ感染者搬送可能タクシー）

事業所名	電話番号
日本交通株式会社	03-5755-2151（24 時間年中無響）

⑫陽性疑い者発生時に対する対応 ⇒ 当該出展社（企業）より協会が報告を受けての対応

- ・学会長、学会運営事務局、東京国際フォーラムへ報告
- ・展示会場閉鎖、消毒等の対応
- ・出展者に対して展示会中止または継続の報告
- ・日本眼科学会、日本眼科医会等の関連各所への報告

⑬学会終了後 2 週間以内にコロナ陽性者が確認された場合、学会長、運営事務局、東京国際フォーラムに速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

濃厚接触者とは？

現在濃厚接触者は以下のように定義されています。（国立感染症研究所の定義）

- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ・適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
- ・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・手で触れることの出来る距離（目安として 1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と 15 分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）

学会会期：2021 年 12 月 3 日(金)～5 日(日)

学 会 場：東京国際フォーラム B、C、G

展示会場：東京国際フォーラム B5(1)(2)、B5 ホワイエ

学 会 長：東京女子医科大学 眼科学教室 飯田 知弘 教授

運営事務局：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

展示事務局：B 棟 6F 607 出展者控室：B 棟 6F 612 健康観察室：B 棟 6F 602